

今年もやります！

参加者募集

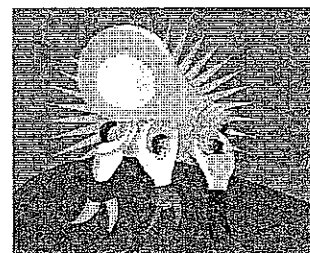
業務改善研修 since 2003

「業務改善」や「成果発表会」と聞いたら、はじめは、誰でも少し引いてしまいがちですが、決して、大げさに考えることはありません。

テーマは、ごく身近なものでいいのです。過去の例でも「紙の無駄をなくす」「担当者不在時の対応をよくする」などなじみやすいものばかり。

「これならできそう」「ちょっと面白そう」と感じた今がチャンス。

この研修は、やる気のある職員を応援します。



1 対象者 概ね 3 等級までの職員

2 応募方法

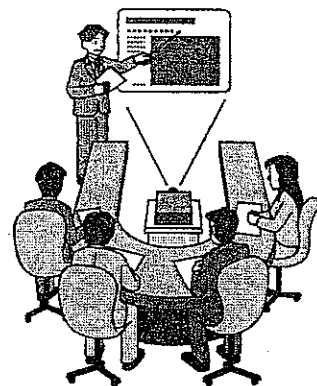
(1) 職場でチームを組んで応募したい → 職場エントリー部門へ

(2) 個人で応募したい → 個人エントリー部門へ

	職場エントリー部門	個人エントリー部門
応募の仕方	同じ職場（部または課等）から 3人以上のチーム	個人（研修開始時に他の研修生とチームを組んでいただきます。）
テーマの設定	研修開始後に研修生が設定します。	
特長	職場の業務に直結した専門性の高いテーマを設定しやすい。	他の部署の職員とチームを組むことになるので、ネットワークが広がる。

- 3 講師 社団法人 日本経営協会 専任講師 ^{ゆずりは} 杠 隆史 氏
- 4 申し込み方法 総務担当課取りまとめの上、6月19日（月）までに人材育成室まで
- 5 研修日程 平成18年8月から平成19年2月まで

月	集合研修（全6日間）※1	自主研究活動 ※2
8月	<p>導入研修</p> <p>【 8月7日（月）、8日（火） 】</p> <p>講師による講義、演習</p> <p>・問題解決の基礎的知識・手法などについて習得した後、テーマを確定します。</p>	<p>職場での情報収集等の活動</p> <p>・情報収集、現状把握、目標の設定、要因の解析等の作業をした後、対策案を立て、実施します。</p>
9月 10月 11月 12月	<p>フォロー研修</p> <p>【 9月5日（火）、10月10日（火）、1月下旬 の1日間】</p> <p>講師等によるアドバイス・講義</p> <p>・自主研究活動へのアドバイス</p> <p>・発表（プレゼンテーション）の手法等について指導と講義を受けます。</p>	
2月	<p>成果発表会【 2月上旬の1日間 】</p> <p>市幹部同席のもとで成果を発表します。</p>	<p>成果発表の準備</p> <p>・フォロー研修を踏まえて、対策案の修正、発表資料の作成など、成果発表の準備をします。</p>



※1 集合研修は、業務都合等のやむを得ない事情がある場合、欠席していただくこともできます。この場合、メンバー間でのフォローをお願いします。

なお、導入研修と成果発表会は可能な限り出席をお願いします。

※2 自主研究活動は、自主的参加研修の扱いとなりますので、時間外手当や旅費の支給対象とはなりません。

FAQ (よくある質問と疑問)

Q そもそも業務改善って何ですか。

A 業務改善とは「より楽に、早く、安全に、効率的に、楽しくそして、より喜ばれるように、業務(仕事)の目的を達成するよう、その手段や方法を変えること」であると言えます。平たく言うと「業務のやり方をよりよくする」ということです。

「がんばろう・一生懸命やろう」だけから脱却し、「苦勞するより工夫する」が実践できるようになれば、仕事がどんどん楽しく面白くなります。これが、業務改善の醍醐味です。

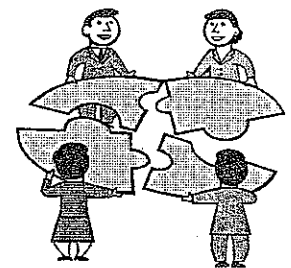
Q 興味はあるけれども、仕事が忙しくて自信がないのですが。

A 人員も予算も減っていく中で、「日常業務で精一杯、もう少し余裕ができれば研修もいいけどね…」という方。

あなたが今、職場で頼りにされ、徐々に大きな仕事も任されている存在であるとしたらなおさら、今後、ますますその比重は高まるでしょう。将来は、定型的な業務にとどまらずプロジェクトを任されるようなこともあるかもしれません。

そのときになって、存分に力を発揮できるよう、この研修でスキルアップしましょう。業務改善の手法はもちろん、チームでの仕事の進め方、パソコンのスキルなど、どの職場へ異動しても通用する大きな力を育めます。

人材育成室としてもできるだけの支援をしますので、迷っている方、是非、思い切ってチャレンジしてみてください。



Q 自主研究活動にはどのくらいの時間が必要ですか。

A 自主研究活動は、テーマやエントリー部門、メンバーの熱中度などの違いで、どのくらいの時間が必要かは、一概には言えないというのが正直なところです。

前年度のチームの状況では、少なくとも、前半3~4ヶ月が月2回、1~2時間程度、後半1~2ヶ月が月3回 1回2~3時間程度の会合、その他にチームで分担した個人作業(データの集計等)が随時というところが目安ではないかと思えます。

Q 昨年度の研修生の感想がききたい。

A 昨年度は、2チーム11人の職員が受講しました。各チームから2名ずつの方の感想を御紹介します。 ※ () 内は取り組まれたテーマ

西福祉事務所保護第二課 小川 和彦 さん (職場の環境を良くする ～職員をもっとイキイキと～)
 日々の日常業務で見過ごされがちなることを発見し、検証、実行するということが重要であるとこの研修を通じて学びました。また、チームワークの難しさ、大切さも同時に感じました。

西福祉事務所保護第二課 米田 隆史 さん (職場の環境を良くする ～職員をもっとイキイキと～)
 この研修に取り組んだことで、自分が所属する職場について客観的に見る機会を得られたことは私にとって良い経験になりました。何事にも一方向からではなく、様々な角度から接していくことを学べたことは今後の自分自身にプラスの効果をもたらしてくれるでしょう。

介護認定給付課 主任 貴治 清香 さん (市民の方がスムーズに目的の窓口へ行けるようにしよう)
 この研修のように、自分たちで研修課題を考え、それを計画、実行するという研修は少ないと思います。自分達の興味のあるテーマなのでやる気も出ますし、結果が出たときの喜びはひとしおです。この研修ならではの貴重な経験ができると思います。

公害対策課 主任 吉原 吉紀 さん (市民の方がスムーズに目的の窓口へ行けるようにしよう)
 この研修活動は色々な能力を刺激してくれます。もちろん日常業務にも生かれます。やればやるだけ、バックアップしてくれる所も魅力の一つです。是非挑戦する事をオススメします。そして精一杯、活動を楽しんでください!

Q もっと色々聞いてみたい。

A 人材育成室 (直通 06-4309-3116 内線 2130、2131) までお気軽にどうぞ。

継続活動の御案内

一昨年度、「職員のマナーアップ」をテーマとして業務改善取り組んだ「チーム「UPUP」」と「東大阪市やるネ!!」と言われ隊」の合同チームが、今年度も活動を継続する予定です。今年度は、一昨年度に引き続いての市民アンケートを実施しようと検討している段階です。

みなさんの御協力と御支援をお願いします。新たなメンバーも大歓迎!

